
傘を持ちながら

百花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

傘を持ちながら

【Zコード】

Z6284B

【作者名】

百花

【あらすじ】

ザーヴーと長く降り続く雨。しかし今日、久しぶりに晴れたので啓太はご機嫌だった

(前書き)

駄文ですがよろしくお願ひします。

五月も半分を過ぎたころ、毎日のように雨が続いていた。

時には激しく、時にはやわらかく、しかし途切れることなく雨は降り続く。一足早い梅雨と言つたら分かりやすい。

だが、今朝は珍しく晴れ間が広がり、ようやく訪れた太陽の光に啓太は上機嫌だった。

しかし、居間に置かれているテレビでは、また午後から雨が降る。と言つているのだが、啓太の耳には届いておらず、傘を持たずに学校へ行ってしまった。

……そして午後。

「うわ！ また降ってきやがった！」

既に決められていた天からの来客に、ただ1人憤慨する。

啓太は、どうしようか。と、思考を駆け巡らせる。いろいろときこ限つてお金も携帯も持つていないので。

色々考えたが、あてが無い。

次第に雨に対する怒りがこみ上げてきた。

「何なんだよ！ つたく……毎日毎日降りやがって！ お前のせいでどれだけ迷惑してると思つてんだ！！ ジメジメするし、髪はハネるし、気分は憂鬱だし！」

いい機会とばかりに溜まりに溜まっていた鬱憤を晴らす。

放課後の教室で、一人で文句を言つている姿は、傍から見ると奇妙なことこの上ないが、本人は気にしない。そつやつてこひつちこひつ、段々落ち着いてきたようだ。

「……つてこんなことしてゐる場合か！ 僕！ ……やべー、本格的に降り始めたぜ」

パラパラからザーザーへ、雨は姿を変貌させていた。

こうなれば意を決するしかない、啓太は雨の中を全力疾走すべく、

教室を出ようとした。

「……けーくん？」

突然の、背後から掛かった声。それは小さな、そして控えめな少女のそれだった。

「どうしたの？こんな時間に。下校時刻過ぎちゃうよ？」

少女は、不思議そうな表情で啓太を見る。

啓太はいきなりの来訪者に吃驚したが、知ってる顔であつたから安堵した。

「ん？……ああ、柚子^{ゆず}、ちょっと困ったことがあってな」

実は傘忘れちゃって、携帯も無くて連絡できないんだ。と苦笑しながら続けた。

「柚子こそどうしたの？」

啓太のその言葉に対し、柚子は、生徒会の帰りであると説明した。「私が生徒会の書記をしてるのは知ってるでしょ？ 今日はちょっと長引いちゃって」

「ふーん、大変なんだな」

それから何度も言葉のラリーが続いた。

啓太は、そこでふと思つた。

「…………そうだ！柚子！悪いけど携帯貸してくれないか？」

「あ……ゴメン。私も今日忘れたんだ……」

「ホントに？！……ああ、最後の希望が……」

ガツクリとその場にうなだれる啓太。そんな啓太に対し柚子は……。

「それなら私の傘に入つたら？私の大きいから一人でも大丈夫だよ」まるで女神のような笑みを浮かべ救いの手を差し伸べる。

「え、いいの？」

「いいよ。……けーくんだから、ね。一度相合傘してみたかつたの」

「柚子……それって……」

「もう！恥ずかしいからこれ以上言わせないでよ。……私はけーくんと帰りたいの」

ゆでだことはこのことか。柚子の顔は真っ赤だつた。

「… ありがとう。それじゃあ、よろしく！」
「うん！ こちらこそ。これからもよろしくね」

そうして2人は帰路を共にする。傘の柄を媒介に手を繋ぎながら。

(後書き)

恋愛小説というのはなかなか難しいものだと思い知りました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6284b/>

傘を持ちながら

2010年12月28日03時17分発行